



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,501	13.0	588	△38.6	705	△36.1	405	△19.9
26年3月期第3四半期	17,254	14.0	959	47.9	1,103	43.1	505	14.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 407百万円 (△17.5%) 26年3月期第3四半期 494百万円 (33.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	23.06	22.50
26年3月期第3四半期	28.83	28.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	30,113	23,461	76.3
26年3月期	28,058	23,137	81.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 22,984百万円 26年3月期 22,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	12.4	600	△45.2	750	△39.6	400	△24.2	22.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) STAr Technologies, Inc.、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	18,218,901 株	26年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	653,459 株	26年3月期	653,459 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	17,565,442 株	26年3月期3Q	17,544,283 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては平成27年2月9日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和策等を背景とした円安・株高が進行し輸出環境が改善、全体としては緩やかな回復が続いております。しかしながら、個人消費については、足元では消費税増税の影響が和らぎつつも力強さに欠ける推移となっており、海外については、米国において内需拡大が見られるものの、欧州では景気の停滞感が強まり、新興国経済の不透明感も継続しております。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビやカーナビに需要回復の兆しの一部見られるものの民生機器関連は総じて低調に推移いたしました。スマートフォンやタブレット端末等の通信機器関連は概ね堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高195億1百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益5億88百万円(同38.6%減)、経常利益7億5百万円(同36.1%減)、四半期純利益4億5百万円(同19.9%減)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結累計期間分を変更後のセグメント区分に組み替えて行っております。

詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、スポット案件が増加した前年同期実績には及ばなかったものの、長期契約の更新が引き続き順調だったことや既存顧客の需要増により概ね堅調に推移いたしました。自社製組込み製品は、新製品の受注増等により好調に推移いたしました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、既存顧客の需要が回復し堅調に推移いたしました。ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、自動車メーカーを中心とした底堅い需要に支えられ好調に推移いたしました。一方、アイティアアクセス株式会社は、受託開発は堅調に推移したものの、組込みソフトウェアのライセンス販売が伸び悩みました。

その結果、当事業の売上高は120億34百万円(前年同期比15.3%増)、セグメント利益は7億5百万円(同43.9%増)となりました。

〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場やデジタル家電、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。平成26年10月には、台湾のSTAr Technologies, Inc.を子会社化いたしました。これは、アジアを中心としたテスタービジネス市場の開拓と顧客拡大を企図したものであります。

自社製テストシステムは、国内外向けともに需要が旺盛であった前年同期実績には及びませんでした。ハードディスク部門は、OA市場の受注回復により売上高は増加に転じ、デバイス部門においてもファンドリービジネス等の拡大により売上高が増加いたしました。一部在庫評価減を実施したため収益性は低調となりました。

その結果、当事業の売上高は74億66百万円(同9.5%増)、セグメント利益は2億10百万円(同77.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、301億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億55百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が増加したものの受取手形及び売掛金やのれんが増加したことなどによるものであります。

一方、負債は66億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億32百万円増加しております。これは主に、未払法人税等や支払手形及び買掛金が増加したものの借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は234億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は76.3%となり、前連結会計年度末に比べ4.7ポイント低下しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成26年5月12日に公表しました平成27年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成27年2月9日付で別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、STAR Technologies, Inc.の株式を新たに取得したため、同社及びその子会社9社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が128,813千円減少し、利益剰余金が82,955千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,700,658	4,054,967
受取手形及び売掛金	6,612,860	7,794,475
商品及び製品	1,775,318	1,665,434
その他	1,954,762	2,702,317
貸倒引当金	△12,664	△14,091
流動資産合計	15,030,935	16,203,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,834,516	7,916,042
減価償却累計額	△3,836,344	△3,976,825
建物及び構築物（純額）	3,998,172	3,939,216
土地	5,781,631	5,731,631
その他	907,285	1,616,887
減価償却累計額	△574,978	△1,103,860
その他（純額）	332,306	513,026
有形固定資産合計	10,112,110	10,183,875
無形固定資産		
のれん	553,989	1,520,249
その他	394,398	379,697
無形固定資産合計	948,388	1,899,946
投資その他の資産		
投資有価証券	1,072,861	743,498
その他	899,712	1,089,287
貸倒引当金	△5,754	△5,724
投資その他の資産合計	1,966,820	1,827,061
固定資産合計	13,027,319	13,910,883
資産合計	28,058,254	30,113,986

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,307,340	1,143,743
短期借入金	—	1,282,180
1年内返済予定の長期借入金	245,215	144,408
未払法人税等	303,033	93,185
賞与引当金	69,467	164,168
役員賞与引当金	—	14,228
その他	2,299,053	3,272,415
流動負債合計	4,224,109	6,114,330
固定負債		
長期借入金	269,249	—
役員退職慰労引当金	79,336	86,810
退職給付に係る負債	166,588	177,998
その他	181,369	273,675
固定負債合計	696,542	538,484
負債合計	4,920,651	6,652,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,323,460	7,323,460
利益剰余金	4,934,577	5,176,622
自己株式	△258,521	△258,521
株主資本合計	22,516,675	22,758,720
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,884	110,071
繰延ヘッジ損益	△4,879	△33,565
為替換算調整勘定	41,002	94,424
退職給付に係る調整累計額	70,469	54,731
その他の包括利益累計額合計	210,476	225,662
新株予約権	194,213	231,714
少数株主持分	216,236	245,074
純資産合計	23,137,602	23,461,172
負債純資産合計	28,058,254	30,113,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	17,254,696	19,501,032
売上原価	12,616,034	14,965,352
売上総利益	4,638,661	4,535,680
販売費及び一般管理費	3,679,187	3,946,721
営業利益	959,473	588,958
営業外収益		
不動産賃貸料	333,729	326,633
その他	83,352	66,899
営業外収益合計	417,082	393,532
営業外費用		
不動産賃貸費用	247,872	248,724
その他	25,141	28,377
営業外費用合計	273,014	277,102
経常利益	1,103,542	705,389
特別利益		
投資有価証券売却益	83,580	7,229
その他	1,470	698
特別利益合計	85,050	7,928
特別損失		
投資有価証券評価損	216,264	—
関係会社整理損	77,746	—
段階取得に係る差損	—	87,463
その他	2	466
特別損失合計	294,012	87,929
税金等調整前四半期純利益	894,580	625,387
法人税等	384,828	232,725
少数株主損益調整前四半期純利益	509,751	392,661
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,992	△12,344
四半期純利益	505,759	405,005

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	509,751	392,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,427	6,187
繰延ヘッジ損益	△27,121	△28,686
為替換算調整勘定	△44,650	53,422
退職給付に係る調整額	—	△15,737
その他の包括利益合計	△15,344	15,185
四半期包括利益	494,407	407,847
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	490,415	420,191
少数株主に係る四半期包括利益	3,992	△12,344

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,434,421	6,820,274	17,254,696	—	17,254,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,657	260	26,917	△26,917	—
計	10,461,078	6,820,535	17,281,613	△26,917	17,254,696
セグメント利益	490,022	919,731	1,409,754	△450,280	959,473

(注) 1. セグメント利益の調整額△450,280千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△449,992千円及び棚卸資産の調整額△287千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,034,896	7,466,135	19,501,032	—	19,501,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,688	315	19,003	△19,003	—
計	12,053,584	7,466,450	19,520,035	△19,003	19,501,032
セグメント利益	705,188	210,039	915,227	△326,269	588,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,269千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△326,846千円及び棚卸資産の調整額577千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの報告セグメントは、主に半導体の設計及び検証用のソフトウェア、テストシステム、並びに設計サービスから構成される「半導体設計事業」、及びハードディスクドライブをはじめとする電子部品、CPUボードや組み込み用途向けソフトウェア等から構成される「電子部品事業」の2区分としておりましたが、近年の事業環境の変化に伴うビジネスモデルの転換を図るため、平成26年7月1日付けで実施した組織変更に伴い、第2四半期連結会計期間より事業セグメントを「設計開発ソリューション事業」「プロダクトソリューション事業」の2区分に変更いたしました。

「設計開発ソリューション事業」は、半導体設計用（EDA）ソフトウェアや組み込み関連のソフトウェア・開発検証サービスなど主に顧客製品の設計開発工程に係るソフトウェア、サービスを販売する事業セグメントから構成されております。

「プロダクトソリューション事業」は、主に自社製テストシステムやハードディスクドライブ、電子部品などのハードウェアを販売する事業セグメントから構成されております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「プロダクトソリューション事業」セグメントにおいて、STAr Technologies, Inc.の株式を新たに取得し、連結子会社としたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,052,673千円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。